資料-2

関係団体の意見

【連携排砂計画について】

| 関係団体名 | 関係団体の意見 |
|-----------|--|
| 海面漁業関係団体 | (1)連携排砂には基本的に「絶対反対」であるが、漁場環境や漁業への影響が出ない方策を講じて行われる連携排砂については、やむを得ない。 (2)初めての連携排砂であり、試験的な意味合いもあることから、より慎重に行うこと。また、連携排砂及び環境調査の結果をその後の排砂に反映させること。 (3)不測の事態が発生した場合、速やかに中止すること。 (4)ダム及び河川並びに漁港内の流木対策を十分にしてほしい。 (5)黒部川沿岸漁業の振興対策について、関係漁業者の要望に十分配慮すること。 |
| 内水面漁業関係団体 | (1)排砂後の放流量、放流時間をなるべく長くしてほしい。(2)排砂の度に、河口部の土砂堆積が著しく、流れを良くするため、より規模の大きな河道掘削(排土)を実施してほしい。 |
| 農業関係団体 | (1)排砂中でもできるだけ水量の確保をお願いしたい。 農業用水の取水停止時間を短くしてほしい。(2)排砂時の取水再開は、排砂ゲートを閉めた後、愛本堰堤において従来の関係 機関に国土交通省を加えて立会いし、再開時刻を決定したい。 |

【環境調査計画について】

| 関係団体名 | 関係団体の意見 |
|-----------|---|
| 海面漁業関係団体 | (1)初めての連携排砂であり、十分な調査・現状把握が必要である。底質調査については、12年度まで実施した20地点の調査を継続するとともに、現状把握を目的として12年度に実施した面的な調査についても、将来的には継続的な実施を検討してほしい。 (2)排砂による土砂の河口付近での堆積状況を調査・把握してほしい。また、その結果を教えてほしい。 (3)環境における魚類の生態系調査を専門家に依頼し、評価をいただきたい。 (4)氷見など富山湾全体の調査について、協力をお願いしたい。 |
| 内水面漁業関係団体 | (1)河川の水生生物調査地点として、8号バイパス橋、新川黒部橋(スーパー農 道)、愛本堰堤直下の3地点を要望。 |
| 農業関係団体 | (1)農業用水路の調査については、継続して実施してほしい。 |